



総合リハビリテーション学部が人材育成や研究で交流へ  
中国の代表的リハビリ研究機関・大学と協定締結

広島国際大学（東広島市、学長/秋山實利）総合リハビリテーション学部は10月29日、中国リハビリテーション研究センターおよび首都医科大学リハビリテーション医学院と、協定を締結します。中国唯一の国立、中国リハビリテーション研究センターが日本の教育機関と協定を結ぶのは、2番目となります。

北京にある中国リハビリテーション研究センターは、病床数1,200を超える、国立の臨床研究施設です。首都医科大学は北京市が設立、50年以上の歴史を持ち、高い研究実績が評価されています。そのうちリハビリテーション医学院は同センターに隣接し、学生数195人に臨床教員数180人と手厚い臨床教育を行っています。

本学は2012年度から同センターへの留学プログラム、首都医科大学リハビリテーション医学院との交流などを進めていますが、この度の協定締結により、さらに活発な相互交流が実現します。

つきましては、協定締結式の概要をお知らせしますので、取材の機会がありましたら取り上げていただきたくよろしくお願いいたします。

.....【概要】.....

1. 日 時：2015年10月29日（木）11：30
2. 場 所：広島国際大学 東広島キャンパス 2号館8階  
（広島県東広島市黒瀬学園台555-36）
3. 協定内容：①学生の教育のための交流  
②教員、研究者の研究のための交流  
③多岐分野にわたる文献、研究資料、出版物、情報の交換  
④両機関・大学が合意したその他の交流計画
4. 出席者：中国リハビリテーション研究センター総長・  
首都医科大学リハビリテーション医学院院長 李健軍  
広島国際大学 学長 秋山實利  
総合リハビリテーション学部長・教授 南山求  
国際交流センター長 村上照夫・教授 ほか

■取材の申し込みおよび内容に関するお問い合わせ先

広島国際大学 広報室（坂井・中神） TEL：0823-27-3102